

飯田市大平峠第 18 回紅葉祭りに参加して 西荻ハーモニカ教室 松澤 稔

西荻ハーモニカ教室は、10月21日（土）長野県飯田市大平峠で開催される“大平峠紅葉祭り”に、初めて他の教室「飯田ハーモニカエコーズ」と合同で演奏参加することを目的に日々練習を重ねていた。しかし、大型台風21号接近により連日激しい雨が降りが続き、“紅葉祭り”は中止となった。

ところが主催者側の議長さんの粋なはからいで、急遽“大平峠第18回紅葉祭り残念会”を企画して下さり飯田市伊賀良公民館に会場を設置して、合同ハーモニカ演奏会が開催された。降りしきる雨にもかかわらず大勢の方々が集まってくれた。主催者の議長さんをはじめ、伊賀良地区まちづくり委員会会長さんら数名の代表の方々のご挨拶の後、ハーモニカ演奏会が始まった。

最初に、合同で秋の歌メドレー「里の秋・村祭り・赤とんぼ・もみじ」を演奏した。次に、飯田ハーモニカエコーズが「ああ上野駅」「白雲の城」「好きになった人」3曲を演奏した。みなさんになじみの深い曲目であったせいか、口ずさむ人がちらほら見え、盛り上がっている様子であった。続いて合同で演奏した「青い山脈」は知っている人が多い曲であったので、歌声もだんだん大きくなり、とても楽しく演奏が出来た。

西荻ハーモニカ教室は、「コンドルは飛んでいく」「いつも何度でも」「士官候補生」の3曲を演奏した。山岳地帯での演奏にふさわしい軽快なメロディーに、観客の方々は「どこかで聞いたことがある」という顔つきでリズムを取りながら楽しんでいた。

観客からアンコールの声がかかり、飯田ハーモニカエコーズは「旅の夜風、星影のワルツ」を演奏し、合同で長野県の県歌「信濃の国、ふるさと」の2曲を演奏すると、全員が一丸となり大変盛り上がった。主催者からも「東京から来られた方々に」とアンコールの声がかかり、西荻ハーモニカ教室は「思い出のソレントアール」を演奏し無事終了となった。

最後に主催者代表の議長さんから「大平県民の森は携帯電話も通じなく、有るのはトイレぐらいの自然がいっぱいですが、過去17回開催して雨で中止になったのは今日で4回です。誠に残念でしたが、来年はぜひ紅葉の中でもう一度素晴らしい演奏をして下さい。」との締めくくりの言葉をいただいた。

それを聞き、来年は是非紅葉で黄色に染まった木々に囲まれ、大自然の中でのハーモニカ演奏を試みたいと強く思い、今回のメインイベントである「紅葉祭り残念会」は終了した。

その後、昼食に郷土料理の牡丹鍋（猪鍋）を提供して頂き、記念品とし木曾ヒノキの〔箸〕や議長さんからお土産として自宅で取れた飯田名産の「南水の梨」もいただき、皆思わぬおもてなしに感激であった。